

岡山県の土地改良

第47回全国土地改良大会佐賀大会開催

水を利用して土を活かす さがで語ろう郷里の未来

10月15日（水）、佐賀県のSAGAアリーナにおいて第47回全国土地改良大会佐賀大会が開催された。大会スローガン『水を利用して土を活かす さがで語ろう郷里の未来』の下、全国から約4,200名の土地改良関係者が参集し、岡山県からは37名が参加した。

佐賀県土地改良事業団体連合会の田島会長の開会挨拶に始まり、主催者を代表し全国土地改良事業団体連合会の二階会長の挨拶があった。その後、佐賀県の山口知事、佐賀市の坂井市長の歓迎挨拶に続いて、農林水産大臣（代理：青山農村振興局次長）、佐賀県議会の宮原議長、全国水土里ネット会長会議顧問の進藤参議院議員が来賓祝辞を述べた。

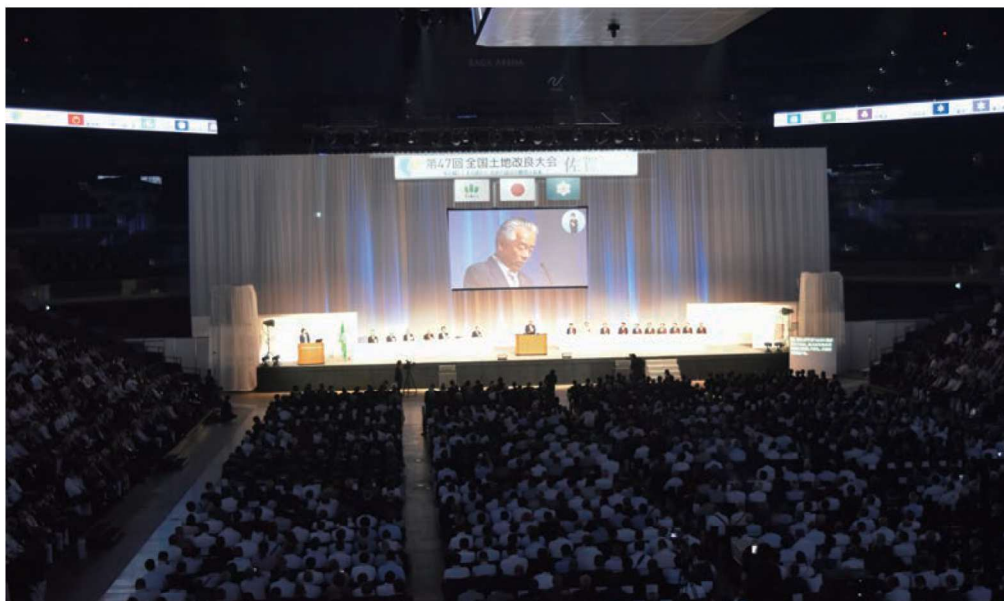
土地改良事業功績者表彰では、農林水産大臣表彰6名、農村振興局長表彰16名、全土連会長表彰44名に表彰状と記念品が授与され、岡山県からは前岡

山県土地改良事業団体連合会副会長常務理事の田窪行雄氏が農村振興局長表彰を、前高梁市長の近藤隆則氏が全土連会長表彰を受賞した。

その後、青山農村振興局次長による基調講演に続き、白石土地改良区の久原主事と江口主事から白石地域の農業農村の将来に向けて－白石土地改良区の変遷－について事例発表があった。

最後に鹿島市土地改良区の宮崎理事長、佐賀東部土地改良区の中原管理課長、佐賀県土地改良事業団体連合会の土井技師による大会宣言が高らかに読み上げられた後、次期開催地である奈良県土連へ大会旗が引き継がれ式典の幕を閉じた。

2日目は筑後川下流右岸農地防災事業千代田線及び筑後大堰において、佐賀県で取り組まれている事業や施設の仕組みなどについて事業視察を行った。



大会の様子（佐賀県土連 田島会長の開会挨拶）

【農林水産省農村振興局長表彰】



田窪 行雄

前 岡山県土地改良事業団体連合会
副会長常務理事

【全国土地改良事業団体連合会長表彰】



近藤 隆則

前 高梁市長
前 岡山県土地改良事業団体連合会 理事



事業視察の様子
(筑後川下流右岸農地防災事業 千代田線)



事業視察の様子（筑後大堰）

大会宣言

約 3,000 年前、この九州北部の地に最初に伝わったとされる稲作は、約 600 年後の弥生時代には東北地方まで広がりました。

先人はいくつもの時代を経て、「国の基である農業」を営むに必要な農業用水を確保するために苦勞に苦勞を重ねました。水路やため池を造成し、広範囲に水路を張り巡らせることで川から遠く離れた平野や盆地にまで稲作を広げてきました。さらに沼や海岸では、干拓を行うなどして農地の拡大や用水の確保に心血を注いできました。

まさに、「水を利して土を活かす」。その思想を継承している土地改良事業は、国力の増進に大きく寄与してきました。そこに土地改良区が事業を興し、農地や農業水利施設の整備を行い、更には整備された施設の維持管理を担いながら「国の基である農業」を発展させてきました。

しかしながら、我が国の食料・農業・農村を取り巻く環境は、国際情勢の不安定化や気候変動による異常気象の頻発化、人口減少や高齢化など、大きく変化しています。戦後の食料増産や高度経済成長の時代に急速に整備された農業水利施設は、耐用年数を超過するなど、老朽化対策が喫緊の課題となっています。

農地や農業水利施設、人材など農業の生産基盤は、いったん毀損されてしまうと、一朝一夕で回復できるものではありません。「食料の安全保障」のためには、「農地・農業水利施設の整備・保全」とその農地を活かす「人材の確保」が極めて重要です。

このためには、先人より受け継いだ大切な地域の財産を適切に保全し、営農の将来像を関係者で共有し、それに適う土地改良事業を推進する体制を作り上げ、未来に向けた「食料・農業・農村」を築くことが必要であります。

その上で、土地改良事業に取り組み、農業水利施設などの維持管理の効率化、省力化のための整備、施設の集約・再編を行い、農地の大区画化などの基盤整備を進め、担い手に農地を集積・集約するなど、生産性の向上を通じて、農業の持続的発展を図ることが我々の使命です。

いまこそ私たち水土里ネットが力を合わせ、互いに支えあい、国民共有の貴重な財産である「水・土・里」を次の世代に引き継ぐことを、ここ佐賀の地より高らかに宣言します。

令和7年度中国四国ブロック水土里ネット女性理事意見交換会

9月25日（木）、広島ガーデンパレスにおいて、令和7年度中国四国ブロック水土里ネット女性理事意見交換会が開催された。

「第5次男女共同参画基本計画」及び「土地改良長期計画」において、令和7年度末までに女性理事のいない土地改良区及び土地改良区連合をゼロにするるとともに、理事に占める女性の割合を10%以上にすることが成果目標に位置付けられている。その達成に向け、広島県土地改良事業団体連合会が意見交換会を開催し、各県から73名の水土里ネット関係者が集まり、農業・農村の現状や土地改良事業を進める意義などについて理解を深め、土地改良団体全体の男女共同参画の推進を図った。

意見交換会では、全国土地改良事業団体連合会の室本専務理事から「土地改良概論」、「土地改良をとりまく情勢」、「土地改良団体における男女共同参画の意義」について、農業委員会ウーマンネット広島

の道下会長から「農業委員会の男女共同参画の取り組み」についての講演があった。

講演後は道下会長がコーディネーターとなって3人のパネラー（室本専務理事、中国四国農政局農村振興部の山田部長、中国四国水土里ネット女性の会の猪垣会長）とともに、「土地改良における男女共同参画が進む環境づくり」をテーマに、女性理事登用について有効な取組や今後の地域の農業生産にとって大切なことについてパネルディスカッションが行われた。

岡山県からは岡山県土地改良事業団体連合会理事の伊東倉敷市長と栗尾笠岡市長、高崎土地改良区の山室理事、邑久町土地改良区の佐藤副理事長、笠岡湾干拓土地改良区の仁井名理事が出席し、パネルディスカッションでは積極的に発言していた。

その後の懇親会でも活発な意見交換が行われ、参加者の親睦が深められた。



パネルディスカッション

【岡山県の女性理事登用状況】

（令和7年10月1日現在）

土地改良区 の数 (土連会員のみ)	女性理事を 登用していない		理事総数 (人)	女性理事数（人）			
	改良区数	割合		員内	員外	計	割合
88	64	72.7%	1,045	22	10	32	3.1%

※参考【全国】

（令和7年10月1日現在）

土地改良区 の数 (土連会員のみ)	女性理事を 登用していない		理事総数 (人)	女性理事数（人）			
	改良区数	割合		員内	員外	計	割合
3,836	2,826	73.7%	43,315	742	701	1,443	3.3%

令和7年度農業農村整備事業地域推進会議を開催

土地改良関係者に農業・農村の振興に係る情報を提供し共通認識を深めるとともに、農業や地域振興の一層の推進を図ることを目的とした農業農村整備事業地域推進会議を県内3ヵ所で開催した。

会議には土地改良区の役職員をはじめ、県や市町村の農業農村整備事業関係者など、3会場（備前：岡山プラザホテル、備中：ホテルグラン・ココエ倉敷、美作：ザ・シロヤマテラス津山別邸）あわせて173名が参加した。

会議では、岡山県農林水産部から「岡山県の農業農村整備事業の概要について」、倉敷市文化産業局農林水産部耕地水路課の高橋萌主事から「倉敷市における田んぼダムの取組について」、(株)アーチファーム代表取締役の植田輝義氏（黄ニラ大使）から「黄ニラが拓く地域農業の未来～ブランド化と発信の力～」について講演が行われた。

講演後は、岡山県農業の新規就農者の推移についてや田んぼダムの普及啓発について、黄ニラの販売価格などについて質疑応答があり、大変有意義な会議となった。参加者のアンケートでは、水土里ビジョンについてや田んぼダムと土地改良区の関わりなどについて、幅広い要望・意見が多く寄せられた。

会議終了後は意見交換会を開催し、活発な意見交換の場となった。



会場の様子



倉敷市 高橋主事の講演



植田氏の講演

地域	開催日	会 場	参加人数内訳					
			講師	県	市町村	改良区	県土連	合計
備前	11月6日(木)	岡山プラザホテル	3	8	14	28	12	65
備中	10月31日(金)	ホテルグラン・ココエ倉敷	3	8	9	10	12	42
美作	10月27日(月)	ザ・シロヤマテラス津山別邸	3	6	9	35	13	66

令和7年度土地改良区機能強化支援事業技術実践向上研修の開催

11月11日（火）～12日（水）、岡山プラザホテルにおいて、令和7年度土地改良区機能強化支援事業技術実践向上研修を開催した。

この研修会は、土地改良区の役職員及び市町村担当者の知識や技術力等の向上を目的としており、中国四国農政局農村振興部設計課の眞鍋直子室長らを講師に迎え、農業農村整備事業の施策動向や土地改良事業を通じた農村振興プロセス事例など幅広い分野について講義を行った。

研修会には延べ50名が出席し、今回の研修を受けて、「水土里ビジョンの概要について理解できたので、策定に向けて前向きに検討していきたい」や

「施設の老朽化や担い手不足について、国がどのように考えて政策を行っているのか分かりやすかった」などの意見が寄せられた。



岡山県土地改良事業団体連合会 新規採用職員紹介



すなだ けんいちろう
砂田 健一郎
事業部 専門指導員

- ①出身地 広島県廿日市市
- ②趣味・特技 農業、サッカー観戦
- ③担当業務 測量・設計・積算業務

広島・岡山・島根県内での、公務員、団体職員及び設計コンサル勤務を経て、今年7月から、当会に採用いただきました。

これまでの経験を活かし、微力ながら当会のお役に立ちたい所存です。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



おおが けん
大賀 賢人
事業部 技師

- ①出身地 瀬戸内市
- ②趣味・特技 読書、イラスト作成
- ③担当業務 測量・設計・積算業務

中途採用となった大賀賢人です。

前職では測量業務に従事していましたが、設計などの業務は未経験です。

仕事上いろいろとご迷惑をかけてしまうこともあると思いますが、1日でも早く仕事を覚えられるように頑張りたいと思います。

ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

児島湖流域清掃大作戦に参加

11月2日（日）、児島湖流域環境保全対策推進協議会の主催で、児島湖及び流域河川の計6ヵ所において、一斉清掃が行われた。

地域住民をはじめ各種団体から約2,200名が参加し、3.06トンのゴミが回収された。

会場の一つである締切堤防には当会役職員23名

とおかやま水土里ネット女性の会の会員11名を含む約550名が参加し、湖岸への漂着ゴミや不法投棄されたゴミを回収した。

当会では、今後も児島湖流域の環境保全活動に積極的に参加したいと考えている。



県土連役職員とおかやま水土里ネット女性の会



活動の様子

おかやま水土里ネット女性の会のロゴが完成

～岡山県立瀬戸南高等学校～

10月28日（火）、岡山県立瀬戸南高等学校において、7月25日（金）に行ったワークショップで出たアイデアを基に制作したロゴの完成報告会が行われた。

当日は、古澤校長、高原教頭、江國先生、美術部の中山柚菜さん（3年）、二宮雫さん（1年）と女性

の会の野口会長、小坂副会長が出席し、生徒さんから今回の取組の感想やロゴに込めた思いを説明してもらった。

生徒さんから野口会長にロゴが手渡された後、参加してくれた生徒さんや協力いただいた先生方に感謝の気持ちを伝え完成報告会が終了した。



完成報告会



完成したロゴ



イメージキャラクター
（桃太郎と温羅）

土地改良施設見学会開催 －児島湾七区土地改良区－

10月10日（金）、児島湾七区土地改良区が主催する、令和7年度土地改良施設見学会が開催され、岡山市立七区小学校4年生21名が参加した。

この見学会は、児童が住んでいる地域にある土地改良施設を見学するとともに干拓の歴史等を学び、自分たちが住んでいる七区地区についての知識を深めることを目的として毎年行われている。今回は、七区用排水機場、5号樋門、干拓堤防跡地、児島湾締切堤防管理事務所資料館などの見学を行った。

各施設では、同改良区片山理事長やNPO法人美しい田園21の職員から、用排水機場のポンプや除塵機の仕組み・役割、干拓地の歴史等について説明が行われ、児童は熱心にメモを取りながら説明を聞いていた。

参加した児童は、七区地区の歴史とともに土地改良施設の歴史にも触れることができ、地域の新たな発見につながった。



七区用排水機場



5号樋門

【児島湾七区土地改良区】

昭和37年12月18日設立

地区面積 1,014ha

組合員数 682名

岡山市南区北七区61-1

※令和7年10月1日現在

令和7年度津山市土地改良区連合協議会視察研修 －石原集落協定組合・世羅町西大田土地改良区－

11月6日（木）～7日（金）、津山市土地改良区連合協議会が主催する視察研修が開催され、土地改良区、津山市、県土連あわせて9名が参加した。

広島県三次市にある石原集落協定組合と世羅町にある世羅町西大田土地改良区の2箇所において視察を行った。

石原集落協定組合は、令和6年度農業農村整備優良地区コンクールの中山間地域等振興部門で農村振興局長賞を受賞した団体で、担い手組織や水利組合、地域の女性で構成する団体が構成員として参加し、農家・非農家が共同で営農を支える仕組みが定着している。また、女性活躍や交流活動を推進し地域に活力を生んでいることで注目されている。

世羅町西大田土地改良区は、令和2年から令和7年にかけて農業競争力強化農地整備事業（農地整備事業）西大田地区を実施し、農地の大区画化、営農

作業の省力化や効率化、収益力の強化、農業経営の高度化を図っている。また、（株）グリーンファームせらを設立し、担い手の確保・育成、農村地域の維持・発展に努めている。

参加者は説明者の話に熱心に耳を傾けていた。



西大田地区

未来へつなごう！ふるさとの水土里子ども絵画展 2025 受賞作品決定

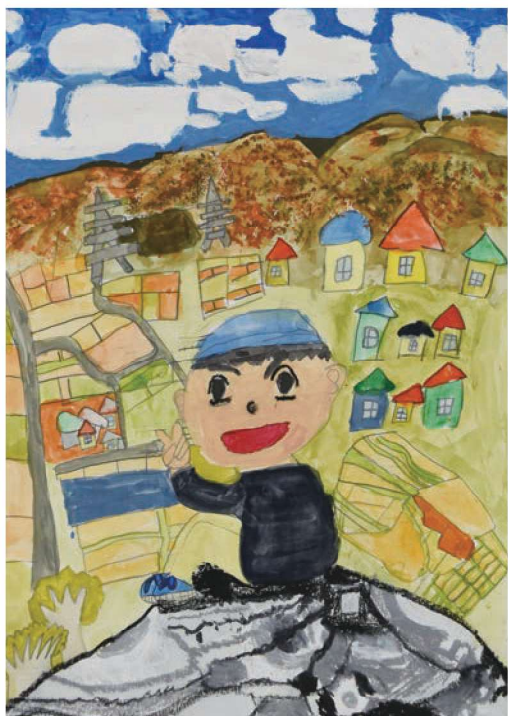
未来へつなごう！ふるさとの水土里子ども絵画展（主催：全国水土里ネット、都道府県水土里ネット）は、農業・農村の素晴らしさと重要性を次世代に引き継いでいくため、絵画を通して子供たちに田んぼや農村に関心を持ってもらうとともに、大人たちへのメッセージとして子供のまなざしを届けるこ

とを目的として、全国の小学生以下の児童を対象に2000年から実施している。

今回の絵画展では、全国から約3,000点の応募があり、10月7日に開催された審査会において農林水産大臣賞等6点、協賛企業・団体賞27点、水土里ネット賞56点、入選141点、佳作170点が選ばれた。

岡山県からの入賞、佳作作品は次のとおり。

入選（水土里ネット賞） 「晴れの国 水土里ネット岡山会長賞」



「かぶと岩から見た赤磐市」

川瀬 誠さん
(赤磐市立山陽小学校 2年)

佳作作品



「やさいのしゅうかく」

小寺 悠斗さん
(赤磐市立山陽小学校 1年)

岡山県の土地改良 題字:石井正弘書 第621号 令和7年12月3日発行

発行所 ●岡山県土地改良事業団体連合会 〒700-0824 岡山市北区内山下1丁目3番7号 県土連ビル

☎086-225-0921 fax086-226-0068

総務部 〒703-8292 岡山市中区中納言町1-6 岡山県土地改良会館3F・2F

☎086-207-2200 fax086-207-2202 e-mail:info@okadoren.or.jp http://www.okadoren.or.jp

岡山ため池保全管理サポートセンター 〒703-8292 岡山市中区中納言町1-6 岡山県土地改良会館2F

☎086-207-2324 fax086-272-3937

ため池相談窓口(月、木) ☎086-207-2282

事業部 〒703-8292 岡山市中区中納言町1-6 岡山県土地改良会館2F

☎086-273-2110 fax086-272-3937

事業部技術第三課 〒708-0051 津山市椿高下128-1

☎0868-35-2178 fax0868-35-2179

